



ゆたか福祉会キャラクター
ゆたかめくとみらいちゃん



障害者の ゆたかな未来をめざして



「花畑」 つゆはし作業所 永田一雄さん
※紹介が11ページにあります。

CONTENTS

- ▶ 新役員紹介 P2～3
- ▶ 平和への願いをこめて P4～6

2025年8月15日 毎月1回15日発行 一部200円（法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます）

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会
〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3
TEL 052-698-7356 FAX 052-698-7358

ゆたか福祉会 検索



ゆたか福祉会HP



公式 Xアカウント



愛知県ファミリー・
フレンドリー・マーク



6月末の理事会を経て、 新しく理事長に選任されました。

理事長 後藤 強

ゆたか福祉会に入職して今年で42年目。この間に数えきれないほどの仲間やご家族、そして職員との出会いがありました。また、20年ほど前には法人全体をゆるがす事業運営の危機を体験しました。

前任の鈴木理事長の退任により、創成期の職員が全て現場から退くこととなったいま、これまでに頂いたたくさんのお会いや経験を、次の新しい世代に手渡していくことが、私に託された役目であると受けとめています。

ゆたか福祉会は、あと4年で事業開始60年を迎えます。無認可の共同作業所として出発した



当時には想像すらしなかったほど、大きな組織となりました。仲間やご家族・職員それぞれの多様な思いや願いをもち寄れる「プラットフォーム」としての役割が、これからはますます大事になっていくと思います。

取り組まなければならない課題は山ほどありますが、あえてひとつあげるとしたら、南海トラフ巨大地震などの自然災害への備えを抜本的に強化していくことです。必ず来ると言われている巨大地震。誰一人とり残さないための対策を、みなさんのお力を得ながら実現していきたいと考えています。

前任に比べ頼りない理事長ではありますが、忌憚のないご意見やご指導で育てていただくことをお願いし、簡単ではありませんが就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

理事長退任のご挨拶

顧問 鈴木 清覚

この度、6月28日に開催されました評議員会において、正式に理事長を退任することになりました。

私がこの分野の仕事に就いたのは、法人認可もない1972年頃、2番目の作業所となる「みのり共同作業所」の設立の取り組みからです。本山市政の誕生もあり、最初の「ゆたか共同作業所」に比して、比較的スムーズに認可施設化が実現し、翌年の1973年10月に開所いたしました。

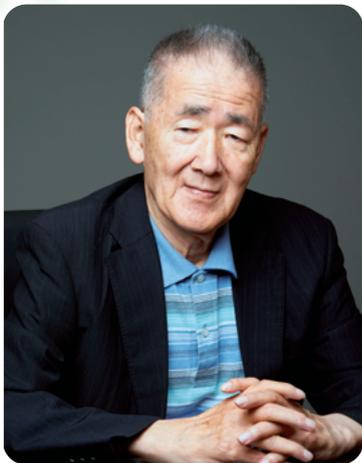
施設長と理事を担うことになり、あの日から52年余にわたって職員として、管理者として、理事として、理事長として、長きに渡り、多くの関係者のみなさんに支えられ、その役割を果たすことができました。

ました。

対外的には、「きょうされん」や「全国社会就労センター」の設立に参加し、一定の役割を担うことができました。この半世紀余を振り返ると、それは先人たちの苦労の上にあつた継承といえます。

ゆたか福祉会が30周年を迎え、とりわけ「混乱期」といわれる時期は、自らの責任も含めて、とても大変な日々でした。しかし、何とか無事に今日を迎えることができたのは、顧問や理事会のみなさん、現場幹部のみなさんの支えがあったからでした。真摯な議論にもとづく法人運営に努めることができましたと感謝しています。更に、全国団体や国際活動を支えていただいた関係者のみなさんにも感謝申し上げます。

海外人材の取り組み等、課題も多く残されており、引き続き「顧問」として活動や業務を遂行し、貢献していきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



理事

今治信一郎さん

(社会福祉法人ゆたか福祉会)



このたび、理事に就任いたしました今治信一郎です。

これまで福祉の現場で多くの方と出会い、支え合いながら歩んできました。その中で感じてきたことは、やはり「人と人とのつながり」が何よりも大切だということ。ゆたか福祉会がこれまで培ってきた温かい現場の力、地域とのつながりを、これからもしっかりと守り、さらに発展させていけるよう、微力ながら努めてまいります。ともに働く仲間のみなさん、地域のみなさんと、よりよい未来をつくっていかれたらと思います。どうぞこれからもよろしくお願いたします。

評議員

桑山利和さん(社会福祉法人愛光園)

私はテレビが大好きです。

今春の『続・続・最後から二番目の恋』というドラマで、主人公が市長に立候補するよう勧められました。「市のために困ることが市長の仕事。困るのは誠実な愛があることで、不誠実な人は困らない。困ったふりをするだけ。あなたはいつだって真剣に困っている。」ドキッとしました。

障害のある方の希望を叶えるために、どうしようか困るのが支援者の仕事。私も皆さんと一緒に困らせてください。



河辺恵さん(社会福祉法人みなと福祉会)

この度、ゆたか福祉会の

評議員会に仲間入りをさせていただきます。みなと福祉会の河辺恵と申します。

私は現在、法人の業務執行理事とみなとホームの管



理者をしています。

今回のご縁を大切に、ゆたか福祉会の実践や経営から様々なことを学ばせていただき、微力ではございますが、みな様とともに力を

合わせて、誰もが当たり前に暮らし、選べる社会のために努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

福澤弘康さん(南医療生協かなめ病院)

この度、ゆたか福祉会様の

評議員を務めさせていただくことになりました。私自身は南医療生協へ就職後、人事で6年、南生協病院で10年勤めた後、今年の6月から「かなめ病院」にて事務長を務めさせていただいております。

勉強不足なことも多いと思いますが、皆さんから学



渡邊麻衣子さん(前ゆたか福祉会運営協議会委員)

グラフィックデザイナーを

21年勤め、現在は北名古屋市議会議員12年目です。

みんなが自分らしく生きられるようにと共同作業所の運営を応援する両親のもと、10代の頃にあかつきまつりにボランティア参加したのが最初の関わりでした。

仲間の皆さんが生き生きと過ごす様子や、応援するご家族の思い、職員の皆さんの尊重し、寄り添う姿勢



に学ばせてもらっています。

一人ひとりの可能性を大切にし、人権が豊かに守られる社会をめざして、ゆたか福祉会の発展に貢献できるよう微力ですが努めていきます。よろしくお願いたします。

平和の取り組み

南区で平和行進をしよう！ ～6年ぶりの取り組みは無念の雨天中止！～

6.3

今年度に入り運動委員会で「南区での平和行進を開催しよう！」と決め、担当委員を中心に各方面への声掛け・調整をしてきました。コロナ禍もあり、平和行進に参加したことがない職員も増えてきたなかで、学習会を開催することにしました。

「平和行進事前学習会」開催～

5月26日に開催した学習会には、原水爆禁止愛知県協議会・佐竹康行事務局長を講師にお招きしました。事務局長の佐竹氏からは、平和行進の意義などについて映像を交えながらお話いただき、歴史や平和への思いを学びました。その後は昨年度も行った折り鶴やカンパのお願いなどをしました。

当日の平和行進は、残念ながら雨により中止になりましたが、戦後80年となる今年に平和について職員が集い・考える時間を共有できたことはとても素敵なことだと思います。学習会にはオンラインで28回線の参加がありました。

運動委員会 つゆはし作業所 石田 和久

参加した職員の“声”

初めて平和行進に参加することになり、学習会に出席しました。平和行進について長い歴史があることや、多くの方の平和への願いがずっと繋がっていることを知りました。「東京からリレー式で、広島まで続いていく大規模な行進」と聞き、とても驚きました。

今年は雨で中止になってしまいましたが、この大きな行進が争いや核兵器のない世界にするきっかけの1つになるよう、次回は青空の下、その中の一人として参加できたらいいなと思いました。

本部 二村 恵津子

5.30

自治会連合会主催 戦争を知り、平和を願う学習会 開催！



平和行進に向け「平和」をテーマにした学習会を、自治会連合会主催で開催しました。「はじめてのヒロシマ」を朗読し、原爆の悲惨さや戦争の恐ろしさについて学び、参加者一人ひとりに深い印象を与えたと思います。感想では「原爆の怖さが心に残った」「平和の大切さを強く感じた」という言葉が多く寄せられました。また、デイサービス宝南の利用者である戦争体験者からのお話も紹介され、「足、速かったから伝令役をやっていた」「白米が食べられなかった」「庭に焼夷弾が転がっていた」「家にはガスマスクがあった」など、戦時中の様子が鮮明に伝わってきました。体験者からの話を聞いて「何回も今回の話を思い出してみんなで考えたい」「戦争は絶対にやってはいけないと伝えていきたい」などの感想が寄せられました。

これらの声を聴いて自治会連合会の役員は「戦争は二度と起こしてほしくない。そのためにも今回みんなと繋がったのは良かった」と、来年もみんなと一緒に平和

について考える場を作っていくことを決意しました。青年合唱団の皆さんと「折り鶴」「青い空は」の合唱もあり、全体が一体となり、平和を守るために伝えること・考えることの大切さを改めて実感しました。これからも世代をこえて、平和の尊さを語り継ぐ場を大切にしていきたいと思います。

自治会連合会担当所長 みらいる 山崎 真由美



デイサービス宝南の
高田さん(左)と小林さん(右)

各事業所の取り組み

6.1

キラリンと一ぶ 奥三河平和行進に参加して

今年度の平和行進は、「被爆 80 年の取り組み」として奥三河 4 市町村にキャラバン隊が来て下さいました。

キラリンと一ぶからは、利用者 3 名と職員 5 名が参加しました。晴天に恵まれ、約 40 名の参加者が設楽町役場に集まり、出発式で「仲間たちキラキラ」を皆で合唱し、設楽町内を行進しました。電動車いすの利用者さんも参加され、平和行進のうちわを持って元気良く行進しました。町民の皆さんに平和をアピールする貴重な機会を頂きました。

伊藤 美香



6.6

なるみ作業所・ゆたか希望の家 平和行進（とよあけコース）

梅雨入り直前の 6 月 6 日、なるみ・希望の家利用者・職員を合わせた 9 人で豊明平和行進に行ってきました。コースは豊明市の三崎水辺公園から、豊明団地、唐竹公園周辺を歩きました。それぞれの事業所職員から報告します。

～なるみ作業所～

私は「とよあけ平和行進実行委員会」の打ち合わせにも参加しました。平和を願い、世界中で起きている戦禍を憂える思いを話し合う市民の方々の篤さに触れた経験が良かったです。

当日は、その方々と仲間たちが一緒に声をあげて歌を口ずさみ、汗をかきながら歩く様子に、自分が元気になれた気がしました。「誰もが平和な暮らしを願うのは一緒」と分かっている、一人で行動や態度に出すには勇気が要るものです。平和行進を通じて、私たちと地域の人たちが繋がった良い時間を過ごせたと思います。 安藤 ひとみ



～ゆたか希望の家～

希望の家からは 2 名の仲間が参加されました。天候にも恵まれ、炎天下の中でしたが、戦争反対や平和について、お二人とも一生懸命、掛け声を出されていました。

今年は戦後 80 年という節目を迎え、ロシアによるウクライナ侵攻など、こうした状況がまだまだ続いているのが現状です。「平和なくして福祉の発展はありえない」といった言葉があるように、今回の平和行進を通して、平和について考えるとてもよい機会になったと思います。そして、こういった平和についての思いを、他の仲間たちや職員にも伝えていかなければならないと思います。

桑野 紘佑



あかつき共同作業所

6.10

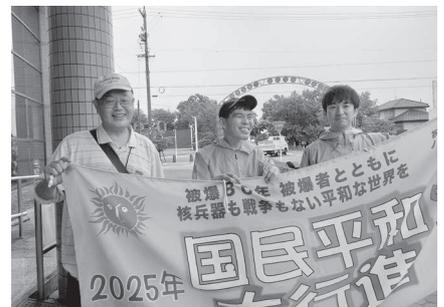
平和行進北名古屋コースに参加してきました！

今回、このコースに参加したきっかけは、毎年ピースアクションの日に参加している仲間からの「今回、参加できなかったので、北名古屋で参加したい！」という熱い要望からでした。

当日はあいにくの雨天でしたが、仲間はずっとカッパを着てヘルパーさんと帰宅される方だったので、元気いっぱい！「ヘルパーステーションはなキリン」や「生活支援事業所尾張」、「あかつき共同作業所」の職員や親・家族の 6 名で参加しました。

北名古屋市の市議会議員でゆたか福祉会運営協議会委員の渡辺麻衣子さんも参加されており、仲間と一緒に横断幕をもって行進してきました。ピースコールや「青い空は」のうたごえ、雨にも負けず行進を続けました。

佐野浩之



5.29

リサイクル港作業所 自治会主催「平和学習会」を行いました！

「戦後 80 年の節目の年に、何かできることはないだろうか」そんな思いから自治会主催で平和学習に取り組むことを計画しました。「戦争は恐ろしいこと、みんな忘れないで」というテーマのもと、まず自治会役員が事前学習を行いました。

「太平洋戦争とは」「名古屋市被害について」「なぜ今も戦争が起きているのか」という小テーマを設けて、1人ひとりインターネットを使って調べ、パワーポイントにまとめて発表しました。

役員さんは、初めてパワーポイントの作成に挑戦しましたが、すぐにコツを掴んで納得のいく資料を作ることができました。難しい言葉はみんなが分かる言葉に言い換えたり、写真をたくさん使って分かりやすくまとめたところが工夫したポイントだそうです。

発表中も写真を見て「かわいそう」といった声や、爆撃で火事が起きている様子を見て圧倒される仲間の姿もありました。発表を聞いた仲間からは「戦争は良

くないよ」「怖いね」といった声がたくさん挙がりました。

また休憩時間を利用して、折り鶴製作を行い、約 250 羽仕上げることができました。戦争経験者が少なくなってきた今、改めて自分たちで調べて知ることで、平和について考えさせられる良い機会となりました。

自治会担当職員 小川 美里



～平和への願いを込めて～ 折り鶴を作ろう



昨年度に引き続き、平和への願いを込め、折り鶴を広島に届ける取り組みを行いました。折り鶴は日本の伝統的な文化である折り紙の一つですが、平和のシンボルと考えられ、世界各地で平和を願って折られています。広島平和公園「原爆の子の像」の折り鶴ブースには、世界から届けられる千羽鶴が捧げられています。誰でも自由に捧げることができ、直接行けない人は、郵送することで、平和公園へと折鶴を捧げていただくことができます。

今回の取り組みには作業所やホームなど、様々な事業所の仲間や職員が参加をしました。「この取り組みを知り、平和を願って作り方を見ながら頑張って折ってみた」「作業所の各現場で折ったものを1つに集めて糸通しまで頑張った」等、様々な思いをもって取り組んでおられました。

最終的に 3,000 羽ほどの折り鶴が集まり、「公益財団法人広島平和文化センター」へと送らせていただきました。

今年は終戦 80 年の年となりました。これからも戦争を忘れることなく、様々な形で平和を願う心を皆でつなげていくことが、未来への一歩になると信じています。

ゆたか生活支援事業所みなみ 小林 みのり



ゆたか運動委員会

みなさんは折り鶴の話知っていますか？

※折り鶴は日本の伝統的な文化である折り紙の一つですが、今日では平和のシンボルと考えられ、多くの国々で平和を願って折られています。(詳しくは職員に聞いてね！)

今年、ゆたか運動委員会では、みんなで作った折り鶴を繋げて、「原水爆禁止世界大会」へ届けようと思っています。

ぜひ、各施設で平和への願いを込めながら鶴を折って届けていきましょう！！

ゆたか生活支援事業所みなみ

届け先：『エール』

ほうじん本部

締め切り：6月末まで

問い合わせ
ゆたか運動委員会
熊谷・佐野

～職員さんへ～
折り鶴は、今年は各事業所で集めてお持ちください。
鳥の長さは1.5m、鳥が折れたり、傷け落ちたりしないようお願いします。
何本も集まるようでしたら、黒紙が25cmまでとさせていただきます。
折る順番は折る順番を必ずお守りください。
鳥の長さが揃って折るようになっています。



つゆはし作業所 もりだくさんな入所式

作業所では、今年度4月に新しいなかま二人をお迎えしました！まだ高校を卒業したばかりの若いなかまに、なかまたちは優しく声をかけたり、時には注意をしたりと積極的に関わっています。そんな夢いっぱい、元気いっぱいなお二人の歓迎会として「入所式」を行いました！

進行はなかまの会の4役さんが担当。所長さんの挨拶から始まり、なかまの会長からの挨拶、「ポーナスの取り組みってなんだろう？」の説明、つゆはしでの約束事（なかまのめざすもの）の確認をしました。またお二人の生い立ちや、小さい頃のエピソードを紹介。記念品として靴下やタオルなど、これからも使用できるものや、作業所の自主製品を包み、花束と一緒に贈呈しました。

歌のプレゼントとして「トなかまたちキラキラ」「トおくりもの」をみんなで歌って踊って、ジュースで乾杯！最後に写真撮影をして大盛り上がりでした。

4、5月頃の開催予定が、中々タイミングが合わず、6月末の開催となってしまいました。それでも、今の作業所での姿をみているからこそ、小さい頃のエピソード紹介などは、かなり盛り上がりました！！これからなかまたちと一緒に、たくさんの経験をしていきますよ♪

入所おめでとう！これからよろしくね！



リサイクルみなみ作業所

繁忙期を前にベール検査実施

「ベール」とは、作業所に搬入されてきたペットボトルから異物を取り出し、機械で圧縮し重さ約18kg〜20kgの塊にしたものです。質の良い資源にしておくためには、ビンや缶の混入は許されませんし、できる限りキャップを取り除く必要があります。

作業所では毎年、搬入量が増え始める時期に「ベール検査」を位置づけ、品質チェックを行っています。今年は6月20日（金）に仲間全員参加で、4グループがそれぞれに作った「ベール」をくずして取り組みました。

現物で視覚的に出来栄を確認することができ、「異物の混入はないか」「キャップはしっかり取れているか」「自分たちの」よくできているところや、あまりできていないところ」等を発表。さらに、優先的に取らなければならない異物や、効率よく作業を行うための方法を考えあいました。

全体に昨年より成績が良く、「ポーナスに反映したい」との考えもあるようです。ちなみに職員も同じように取り組み、全体の結果が公表されます。

所長 大野 歌織



暮らしの中に彩りを

5/30

金

ゆたか生活支援事業所かさでら

～コツコツ貯めたおこづかいで 念願のジブリパークへ！～

「貯めたおこづかいで、ジブリパークに行ってメリーゴーランドに乗る!」という仲間の個別支援計画の目標がありました。積み立てていたおこづかいが目標金額に達したため、ヘルパー利用のない仲間にも声を掛け、仲間2名と職員3名で外出の取り組みを行いました。

事前の計画では、メリーゴーランドに乗ることはもちろん、ヘルパーさんとの外出で購入したガイドブックを参考に、「お昼は魔女谷にある空飛ぶオープンで、真っ黒なカレーを食べたいな～」など一緒に考えました。

取り組み当日、天気予報では雨マークでしたが、雨は降ることなく晴れ間も見えてホッと一安心。最初にジブリの大倉庫内を見て、計画通りにお昼を食べた後、目標のメリーゴーランドに乗車。その後、同じエリアにあるフライングマシーンや、行きのモノレールで見て乗りたくなった大観覧車にも乗って、乗り物を制覇しました。

園内の移動は、結果としてバスを使うことなく、全て徒歩の移動となり、ホームに戻る頃には2万歩に…。お疲れぎみでしたが、取り組みの様子を職員へ楽しそうに話され、「また行きたい!次はヘルパーさんと行こうかな」など、次に行くことを考えておられる皆さんでした。

ゆたか生活支援事業所かさでら 鈴木 美沙



□□□□□□□□

□□□□□□□□

6/20

金

みらいろ

～なばなの里で咲いたみんなの笑顔～

梅雨の晴れ間に仲間16名、職員14名で、なばなの里へ日帰り旅行に行きました。現地に到着してまずは腹ごしらえ。園内のレストランにて松坂牛がメインのとても豪華な食事。席に着くなり「おいしそう!」という声が聞こえ、乾杯の合図と共に嬉しそうに頬張る仲間たちの姿がありました。「お肉美味しいね」と幸せいっぱい、お腹いっぱいになりました。

食後は園内の散策に移り、3班に分かれ事前に自分で選んだコースを楽しみました。たくさんの花の前

でポーズを決めて写真を撮る人、足湯に浸かり気持ちよさそうにする人、カフェでゆっくりコーヒーを嗜む人と、その姿は人それぞれでどれも楽しそうでした。そんな中でもベゴニアガーデンは圧巻で、いわゆる映えスポットがたくさんあり、そのおかげでたくさんの思い出と仲間たちの笑顔を写真に収めることができました。

お待ちかねのお土産タイムでは、誰かの事を思いながら選んでいる姿が見られ、ほっこりとなりました。帰りの車内では「楽しかった!」「仕事頑張ってたまた旅行にいかないかんわ」などの感想を聞くことができました。これからも、仲間たちが心から楽しめるような取り組みを続けていけたらと思います。そして、みんなの頑張る気持ちにしっかり寄り添えるよう、日々大切に向き合っていきます。

小林 稜汰



□□□□□□□□

南区での送迎の共同運行を開始しました!

この5月より、南区内に複数ある日中事業所間での送迎の共同運行を開始しました。これにより、法人内のグループホームに住む利用者を一台の車両で効率よく送迎できるようになりました。またこれまで送迎が難しかった方や、新規の利用希望者への対応が可能となりました。この取り組みは、利用者の通所支援をより円滑に進めるための重要な一歩です。



実際、共同運行を開始したことで、みのり共同作業所ではこれまで送迎が難しかった2名の高齢利用者の送迎が実現しました。これにより、利用者の負担軽減につながり、より長く作業所を利用し続けることが出来るようになったと思います。

今後、この取り組みを他の事業所と連携しながら拡大し、地域のニーズに合わせた柔軟で持続可能な支援体制を構築し、多くの方々に質の高い支援を届けられるようにしていきます。

みのり共同作業所

荒川 元仁

韓国からの見学者を迎えて

5月29日、韓国の「仁川東区ハンマウム総合福祉館」から、13名の方が見学にいらっしやいました。韓国の福祉情勢に対応し、より良いサービスの提供を目標に、施設の経営・運営・支援の展開について、開発・発展を目指す海外研修とのことでした。

当日はペットボトルの量が多く、「ゆっくり回せないのですか?」と尋ねられました。一定の量を処理しないと後日の入荷でヤードがふれる為、「丁寧な選別と共に、量をこなす事も求められる」と説明。「大変ですね」

という表情をされていました。また、「働く」を支える施設なので、職員は重機の免許を取得し、リサイクルの知識や技術を身につけて支援と工場操業を行います」と説明すると、「韓国の就労支援も同じですよ」との事でした。

職員不足や利用者の動向、就労の収入や会計について、施設への補助金や報酬、日本の資格制度など色々な質問がありました。福祉に携わる職員同士、理解しあえる面が多いと感じました。

リサイクルみなみ作業所

大野 歌織

ゆたか福祉会 2024年度工賃実績報告

		2024年4月1日 現在の定員	2024年度 平均利用者数	2024年度 平均工賃(月額)	2023年度 平均工賃	増減 24-23	工賃向上計画	
							2024年度 目標工賃	2025年度 目標工賃
就労継続 支援B型	ゆたか作業所	15	8.9	35,613	36,686	-1,073	36,877	36,985
	なるみ作業所	10	4.4	30,246	25,031	5,215	26,596	27,211
	つゆはし作業所	10	10.9	26,862	24,368	2,494	25,100	25,800
	ワークセンター フレンズ星崎	15	14.6	67,647	65,609	2,038	67,222	68,333
	トライズ	15	11.0	45,309	37,244	8,065	37,879	38,636
	リサイクル港作業所	40	30.9	66,408	64,923	1,485	66,091	67,131
	リサイクルみなみ作業所	35	30.1	90,546	88,148	2,398	88,624	89,662
	小 計	140	111	63,234	60,142	3,092		
生活介護	ゆたか作業所	40	34.7	5,970	9,533	-3,563		
	なるみ作業所	30	27.9	5,822	4,073	1,749		
	つゆはし作業所	20	18.2	10,459	9,915	544		
	ワークセンター フレンズ星崎	15	13.9	10,862	9,991	871		
	みらいる	30	15.3	4,151	3,974	177		
	みのり共同作業所	30	27.6	14,651	16,170	-1,519		
	ふれあい共同作業所	30	27.4	6,144	5,209	935		
	あかつき共同作業所	30	29.3	10,276	11,547	-1,271		
	小 計	225	194	8,483	9,076	-593		
移行支援	ワークセンター フレンズ星崎	6	2.3	15,790	10,646	5,144		
就労継続A	トライズ	15	9.9	233,601	223,833	9,768		
	総 計	386	317	34,679	35,468	-		

- ・ 昨年度の報酬改定で平均工賃月額の算定方法が見直され、従来の工賃支払対象者数を用いた方法から、平均利用者数を用いた算定式に変更されました。
- ・ 就労継続支援B型事業所で掲げている目標工賃は7か所中、6か所が達成しました。
- ・ 2023年度と比べて平均工賃は就労継続で3,092円増加、生活介護で593円減少しました。平均利用者数はほぼ横ばいです。
- ・ リサイクル港作業所は、缶機械故障により売上が減少したため、工賃変動積立金を取り崩して支給しました。

成年後見もやい 2025年度総会を開催しました。

2025年6月14日、成年後見もやいの総会を行いました。会の前半、林理事による『知的障害者の後見制度利用と相続』について学習会を行いました。林理事からは「本人の思いを念頭に置いた後見活動や、相続制度の見直しがなされるべきである」とお話がありました。

その後、成年後見もやいの総会を行いました。昨年度の後見人受任状況や成年後見制度利用の背景、その他の事業の報告を行い、今年度も引き続き、法人後見事業を中心に事業を継続していくことなど、無事すべての議案について承認・可決をしました。

現在、国では成年後見制度の見直しが検討されており、その中ではスポット後見や期間制度について話し合われています。

丹山 裕太





「花畑」

つゆはし作業所
永田 一雄さん

表紙の作者紹介

御年70歳の永田さん。つゆはし作業所では2番目となる人生の大先輩です。今も尚、現役で自治会活動に取り組まれるなど、その活躍の幅は未だ衰え知らずです。仕事も大好きな永田さんですが、趣味で自身の制作セットを用意し、日夜アート作品作りにも勤まられています。

ここ数年はイラストだけでなく生物画にも挑戦されたりと、可能性は広がるばかりです。今回の作品は頭の中に浮かんだお花畑をテーマにしたとのこと、とても細部までこだわられています。たくさんの色を使い、鮮やかな作品は永田さんらしさが出ています。

これからも、さらなる作品作りを楽しみにしています。いつか作品展の夢、一緒に叶えましょう！

一般寄附(6月)

末田 喜一

賛助会員新規加入者更新者ご芳名一覧

(6月22日～6月30日 手続き分)

- 株式会社丸菱
- 株工システム
- 特定非営利活動法人ひなたぼっこ 大橋 利恵子
- 中日印章印刷(株) 林 克己
- 東海二チユ(株)
- 東洋病院
- 港北幼稚園
- らいぶ施設長 井出 信男
- 設楽測量設計(株) 加藤 博俊
- おもちゃ図書館びっころ
- トランコム MTS 株式会社 港営業所
- 社会福祉法人たからばこ
- 鈴木 隆介
- 山田 哲也
- 安田 訓明
- 住友 陽子
- 今西 正次
- 鷲山 俊明
- 渡邊 洋子
- 尾関 啓子
- 平國 哲
- 中武 繁治
- 浅野 実千代
- 今井 信彦
- 若尾 文子
- 前田 勝彦
- 末田 喜一
- 谷川 修
- 戸塚 やよい
- 近藤 左千夫
- 浅海 正義
- 吉野 多賀子
- 篠田 侑右子
- 浅野 清高
- 早川 久代
- 近藤 直子
- 池田 栄一
- 土井 敏彦
- 脇田 武子
- 脇田 厚子
- 毛利 登
- 川上 雅也
- 神谷 恵子
- 飯田 輝男
- 鬼頭 宏
- 鈴木 徹朗
- 順不同 敬称略

広報・511号

2025年8月号(2025年8月15日発行)
定価1部200円
法人協力会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます
発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会
印刷 / 株式会社東海共同印刷

法人協力会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協力会費 = 年間1口6,000円、
賛助会員(個人1口3,000円、企業団体等1口5,000円)

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

- ・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884
- ・あいち銀行 鳴海中央支店 普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会

※初めてお振込をいただく方は、お手数ですが
法人本部(052-698-7356)へご連絡ください。



6月

- 1日(日) 奥三河平和行進
- 4日(水) 監事監査
- 6日(金) 豊明平和行進
- 7日(土) 理事会
- 9日(月) 事業運営推進会議
- 10日(火) 平和行進北名古屋コース
- 12日(木) 福祉村将来構想検討委員会
- 14日(土) もやい定期総会
- 18日(水) 事務事業推進委員会
- 20日(金) 広報・ホームページ編集委員会 / 食と健康推進委員会
- 23日(月) SDGs委員会/研修部会議
- 25日(水) 所長会議
- 28日(土) 評議員会

その人らしく働く暮らし

Vol.128

仲間

「大きな転機を乗り越えて」

つゆはし作業所 佐藤 和美さん



「何事にも挑戦しよう！」という強い思いを持たれる佐藤さん。作業所へ通われ早11年、すっかりベテランの域になってきました。器用で丁寧に仕事を進められる佐藤さんは、これまでもミシンを使った自主製品作り、下請け作業等、様々な仕事に取り組みれてきました。

みんなの前に出て発表したり、話をしたりも得意で、過去には自治会活動にも取り組まれていた経験があります。

そんな佐藤さんに昨年と今年、2つの大きな転機が訪れました。その1つは首の大きな手術です。「怖い」と思いながらも「自分の身体のために」と、ご家族とも話し合い手術に挑まれました。入院中はしばらく作業所に来られなかったため、「和美さん、大丈夫かな?」「いつ、来られるかな?」「早く会いたいね」といった

声を、多くのなかま達から何度聞いたことでしょう。

2つめは術後のリハビリです。現在は、車椅子を使用しながら、杖歩行のリハビリ中です。まだまだ若い佐藤さん。自分の新たな挑戦課題を見つけないが、一歩一歩と一生懸命に取り組まれ、少しずつ成果を感じ、喜びも共に分かち合っています。

大切な家族、大好きななかまに支えられ、これからも佐藤さんらしく色々なことに励んでいただけたらと思っっています。

山下 葉菜



職員

「将来に向けての土台づくり」

なるみ作業所 岩田 尚子



私がゆたか福祉会へ入職したきっかけは、大学時代の社会福祉士実習です。リサイクルみなみ作業所にて実習したときに、一生懸命働いている仲間の姿に魅了されたことでした。

現在、入職して9年目。つゆはし作業所で5年、異動してなるみ作業所にて4年目を迎えています。これまで様々な場面で仲間の支援に悩み、葛藤しながらも仲間との関わりを通して楽しみややりがいを見つけてきました。そして、研修や外部の会議の参加に恵まれ、自ら学ぶ機会や法人内外での横のつながりを広げる機会をいただいています。

特に「社会福祉士実習指導者講習」や「サビ管基礎研修」の受講は、今、主任という役割を担うなかで大きな糧になっています。実際に指導者として実習生と関わることや、個別支援計画会議の進行や内容の検討など、学んだことを実践する機会をいただき、日々模索し

ながら取り組んでいます。

今後は、仲間の支援や実習生の受け入れなどを通して、「伝える方法」を探究していきたいと思っています。仲間の思いや気持ちの実現に向けて、「どのように伝えたらイメージしやすいのか」、「取り組んでみたいと感じるのか」、「伝える」という方法が言葉だけでなく、具体的かつ視覚的な工夫を取り入れながら考えていきたいです。

また、「仲間の思いや気持ちをどのように表現、実現できるようにしていくのか」、その橋渡しを担う役割を感じています。作業所含め他事業所、多職種との横のつながり・関係づくりを構築しながら、支援の模索や実践する機会を作っていきます。

